

10月2日：押し目買いが入り下げは限定的

金曜日は後場に売りがかさんで下落する場面もあったが、押し目買いも入り下げは限定的だった。

前場にアメリカのトランプ大統領が新型コロナに感染していると伝わると急落した。ホーチミン市場のVN指数は1.79%下落し、897.72ポイントの安値を付ける場面もあった。

しかし、下落局面では押し目買いも入り下落幅は縮小した。

VN指数は0.46%下落の909.91ポイントで引けた。同指数は前2営業日で1.12%上昇していた。

大型株の指標であるVN30指数は、0.7%上昇し861.51ポイントで引け、10月15日限のVN30先物は0.63%下落し861.5ポイントで引けた。

中小型株指数は0.06%、小型株指数は0.51%それぞれ下落した。

294銘柄が下落したのに対し106銘柄が上昇し、65銘柄は変わらずだった。

乳業のビナミルク (VNM)、鉄鋼のホアファット (HPG)、不動産デベロッパーのビンホームズ (VHM)、小売のビンコムリテール (VRE)、民間銀行のVPバンク (VPB)、消費のマサン (MSN)などの大型株が売られ、相場に重くのしかかった。

反対に、ベッティンバンク (CTG)、ペトロベトナムパワー (POW)、タインタインコン (SBT)、ホアンファイ・インベストメント (TCH)などは買われ、大型株の中では堅調だった。

小売、食品・飲料、海産物加工、素材、IT、プラスチックなどは、金曜日に最も売られたセクターであった。

ハノイ取引所でも同様に売りが優勢となり、HNX指数は1.06%下落して引けた。

HNX指数は水曜日から金曜日の3日間で2.4%上昇した。

両取引所の出来高は6億1,650万株、売買代金は9.9兆ドン（4億26百万ドル）となった。

市場のセンチメントは短期間で回復し、VN指数が920～930ポイントまで上昇するだろうと、タインコン証券（TCSC）はレポートで述べている。

しかし、抵抗線を突き抜けるのは難しく、第3四半期の決算見通しなどからも方向感は定まらないかもしれないと、同社は付け加えている。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。